

平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ダルトン

上場取引所 東

コード番号 7432 URL <http://www.dalton.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢澤 英人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 安藤 隆之

TEL 03-3549-6800

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年9月期第1四半期 | 2,859 | △1.5 | △333 | — | △354 | — | △396 | — |
| 25年9月期第1四半期 | 2,902 | △15.3 | △286 | — | △310 | — | △442 | — |

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 △393百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 △441百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年9月期第1四半期 | △28.34 | — |
| 25年9月期第1四半期 | △31.62 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年9月期第1四半期 | 15,827 | 3,132 | 19.6 | 221.45 | | |
| 25年9月期 | 15,025 | 3,542 | 23.2 | 249.49 | | |

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 3,099百万円 25年9月期 3,492百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年9月期 | — | — | — | — | — |
| 26年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,978 | 18.1 | 587 | 119.9 | 529 | 126.1 | 393 | — | 28.08 |
| 通期 | 18,100 | 19.4 | 500 | 488.2 | 383 | — | 237 | — | 16.94 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年9月期1Q | 14,197,438 株 | 25年9月期 | 14,197,438 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年9月期1Q | 201,030 株 | 25年9月期 | 199,850 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年9月期1Q | 13,997,001 株 | 25年9月期1Q | 13,998,513 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権が掲げる経済政策や日銀による金融政策などを背景に株価の上昇や円高是正、公共投資の増加など一部に持ち直しの動きが見られました。一方、海外経済においては、米国は緩やかな回復基調が続いておりますが、中国は成長の鈍化が鮮明になり、新興国では成長に減速感が見られるなど世界経済を巡る不確実性は深まり、国内製造業の生産活動はまだまだ厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、大学等に大規模な研究開発関連予算が成立したことや製造業の海外進出など好材料はあったものの、民間設備投資の動きは依然として低位であったことから厳しい環境は継続しましたが、当期間における受注高につきましては前年を上回る量を確保することができました。

このような事業環境の中、当社グループは事業セグメントを越えたグループ間の協体制を強化したうえで、顧客ニーズに応える戦略的な提案営業と採算性を重視した売上確保に重点を置き取り組んでまいりましたが、機械装置事業の減収が響き、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,859百万円(前年同期比1.5%減)、営業損失は333百万円(前年同期は286百万円の営業損失)、経常損失は354百万円(前年同期は310百万円の経常損失)、四半期純損失は396百万円(前年同期は442百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

① 施設機器

当社グループの主要事業であります施設機器におきましては、研究開発関連予算の増加を追い風に、実験台やドラフト関連の主力商品やサービスの売上及び受注は順調に推移しています。主要顧客であります大学や官公庁からの引合い件数も活発であり前年を上回る実績となりました。また、厳しい受注環境は続いておりますが、昨年度より取り組んでいます積極的な原価削減により売上総利益率も高水準を維持できております。その結果、売上高は1,978百万円(前年同期比15.8%増)、営業損失は100百万円(前年同期は159百万円の営業損失)となりました。

② 機械装置

機械装置におきましては、厳しい事業環境の中、当社グループを挙げて新商品開発やコスト競争力の強化に努めるなど、積極的な事業展開に注力してまいりましたが、民間設備投資が低調であることから厳しい受注競争が継続する状況となりました。特に、医薬品メーカー向けの売上が減少したことや半導体製造関連装置の特需の影響で前年同期を下回ることになりました。

この結果、売上高は881百万円(前年同期比26.2%減)、営業損失は93百万円(前年同期は3百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末から802百万円増加して15,827百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から769百万円増加し8,478百万円、固定資産は前連結会計年度末から31百万円増加して7,328百万円、繰延資産は19百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が731百万円増加したことによるものであります。

固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産が75百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末から1,212百万円増加して12,695百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末から1,147百万円増加して7,799百万円、固定負債は前連結会計年度末から65百万円増加して4,895百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が891百万円増加したことによるものであります。

固定負債の増加の主な要因は、社債が126百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高は第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中しており、期首に計画した施策を推進することにより、利益の確保に努めてまいります。そのため、当期の予想につきましては、平成25年11月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,382,657 | 3,114,431 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,892,669 | 3,218,803 |
| 商品及び製品 | 604,141 | 1,096,018 |
| 仕掛品 | 153,713 | 280,749 |
| 原材料及び貯蔵品 | 378,412 | 395,166 |
| その他 | 307,152 | 379,631 |
| 貸倒引当金 | △9,275 | △5,969 |
| 流動資産合計 | 7,709,471 | 8,478,832 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 681,773 | 1,734,467 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 147,664 | 124,781 |
| 土地 | 3,159,995 | 3,311,237 |
| その他（純額） | 1,417,340 | 312,009 |
| 有形固定資産合計 | 5,406,773 | 5,482,495 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 288,820 | 279,499 |
| その他 | 633,221 | 612,192 |
| 無形固定資産合計 | 922,041 | 891,691 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 81,937 | 89,988 |
| その他 | 886,582 | 865,106 |
| 貸倒引当金 | △320 | △318 |
| 投資その他の資産合計 | 968,199 | 954,776 |
| 固定資産合計 | 7,297,015 | 7,328,964 |
| 繰延資産 | 18,620 | 19,560 |
| 資産合計 | 15,025,107 | 15,827,356 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (平成25年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,824,659 | 3,716,644 |
| 短期借入金 | 2,542,653 | 2,656,220 |
| 1年内償還予定の社債 | 128,400 | 157,700 |
| 未払法人税等 | 36,831 | 15,966 |
| 賞与引当金 | 139,710 | 81,201 |
| 製品保証引当金 | 23,580 | 22,842 |
| 移転損失引当金 | 178,996 | 56,142 |
| その他 | 778,001 | 1,093,137 |
| 流動負債合計 | 6,652,832 | 7,799,856 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 668,000 | 794,700 |
| 長期借入金 | 2,055,860 | 2,023,800 |
| 退職給付引当金 | 883,205 | 884,464 |
| 役員退職慰労引当金 | 144,996 | 136,487 |
| 資産除去債務 | 32,715 | 30,959 |
| その他 | 1,045,139 | 1,024,739 |
| 固定負債合計 | 4,829,916 | 4,895,150 |
| 負債合計 | 11,482,749 | 12,695,007 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,387,182 | 1,387,182 |
| 資本剰余金 | 1,116,886 | 1,116,886 |
| 利益剰余金 | 1,030,076 | 633,433 |
| 自己株式 | △60,101 | △60,282 |
| 株主資本合計 | 3,474,043 | 3,077,220 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,189 | 22,243 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,189 | 22,243 |
| 少数株主持分 | 50,125 | 32,886 |
| 純資産合計 | 3,542,358 | 3,132,349 |
| 負債純資産合計 | 15,025,107 | 15,827,356 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 2,902,132 | 2,859,269 |
| 売上原価 | 1,879,396 | 1,850,535 |
| 売上総利益 | 1,022,736 | 1,008,734 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,308,949 | 1,342,252 |
| 営業損失(△) | △286,213 | △333,518 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 120 | 217 |
| 持分法による投資利益 | 291 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,672 | 1,500 |
| その他 | 5,651 | 10,548 |
| 営業外収益合計 | 8,736 | 12,266 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 18,247 | 20,424 |
| 手形売却損 | 5,211 | 4,242 |
| その他 | 9,337 | 8,500 |
| 営業外費用合計 | 32,796 | 33,167 |
| 経常損失(△) | △310,273 | △354,419 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 640 | — |
| 負ののれん発生益 | — | 14,157 |
| 受取補償金 | 14,960 | — |
| 特別利益合計 | 15,600 | 14,157 |
| 特別損失 | | |
| 移転関連費用 | — | 46,189 |
| 移転損失引当金繰入額 | 178,996 | — |
| 特別損失合計 | 178,996 | 46,189 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △473,668 | △386,451 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,372 | 11,646 |
| 法人税等調整額 | △41,253 | △353 |
| 法人税等合計 | △28,880 | 11,293 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △444,788 | △397,745 |
| 少数株主損失(△) | △2,134 | △1,102 |
| 四半期純損失(△) | △442,653 | △396,642 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △444,788 | △397,745 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,345 | 4,074 |
| 繰延ヘッジ損益 | 357 | — |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 247 | — |
| その他の包括利益合計 | 2,950 | 4,074 |
| 四半期包括利益 | △441,838 | △393,670 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △439,724 | △392,589 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △2,113 | △1,081 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 施設機器 | 機械装置 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,708,088 | 1,194,044 | 2,902,132 | — | 2,902,132 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,708,088 | 1,194,044 | 2,902,132 | — | 2,902,132 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △159,690 | 3,281 | △156,408 | △129,804 | △286,213 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 △129,804千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 施設機器 | 機械装置 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,978,001 | 881,268 | 2,859,269 | — | 2,859,269 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,978,001 | 881,268 | 2,859,269 | — | 2,859,269 |
| セグメント損失(△) | △100,574 | △93,153 | △193,728 | △139,790 | △333,518 |

(注) 1. セグメント損失の調整額 △139,790千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い報告セグメントを従来の「科学研究施設」から「施設機器」に、「粉体機械等」から「機械装置」に名称を変更し、「科学研究施設」に含まれていたシステム機器事業を「機械装置」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

「機械装置」セグメントにおいて、連結子会社である(株)昭和化学機械工作所の自己株式取得により、負ののれん発生益14,157千円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。